

令和5年度 東京都立町田の丘学園 学校経営報告

令和5年度の学校経営計画の達成状況等について以下の通り報告する。

1 本年度の経営の重点テーマ

- (1) 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進
- (2) 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実
- (3) タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底
- (4) 通学区域変更に係る児童・生徒の丁寧な引継ぎと対応
- (5) 令和6年度2学期に向けたB小・中学部の円滑な教育活動実施の対応

2 今年度の取組目標と具体的方策、数値目標及び結果

【評語】 A：達成（目標値以上） B：ほぼ達成（目標値の90%以上）
C：やや未達成（目標値の80%以上90%未満） D：未達成（目標値の80%以下）

(1) 人権を尊重した教育の徹底

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	体罰及び不適切な指導の根絶及び、いじめ防止の徹底	体罰0、いじめ0	A:体罰0、いじめ0
②	個人情報の適正な管理の徹底	個人情報事故0	A:個人情報事故0
③	人権に配慮した呼称及び丁寧な言葉遣いの徹底	満足度95%以上	A:満足度98.4%
④	道徳教育の視点を明確に位置付けた指導の推進	重大事故0	A:重大事故0
⑤	ハラスメント防止	ハラスメント0	A:ハラスメント0
⑥	人権に関する定期的な研修の実施	3回/年	A:年間3回実施

(2) 教育課程と学習指導（自立活動含む）

①	学習指導要領に基づいた教育課程（教科指導等）の充実	満足度95%以上	A:満足度96.6%
②	個に即した個別指導計画作成（自立活動流れ図含む）と指導の充実	満足度95%以上	A:満足度98.4%
③	個に応じた教材・教具の工夫に向けた研修会実施	1回/年	A:1回以上実施
④	各教科等でのタブレット端末活用を通じた授業の推進	3回/学期	C:学期3回以上活用89%
⑤	高等部作業学習等を通じた地域と連携した教育活動の一層の推進	両部門3回/年	A:3回以上実施
⑥	教科学習等におけるA・B部門の交流及び共同学習の実施（高等部）	3回/年	A:作業学習で3回以上

(3) 進路指導

①	キャリア教育に関する保護者満足度の向上	満足度95%以上	A:満足度98.1%
②	全生徒の進路希望の実現（企業就労等）	進路実現100%	B:94.3%
③	A・B部門（中学部・高等部）におけるインターンシップ等の充実	希望者全員実施	A:希望者全員実施
④	自己肯定感を高める社会貢献活動の積極的な実施	全校で30回/年	A:28回実施
⑤	キャリア教育学習会、進路講演会等実施と情報提供の充実	4回以上/年	A:4回実施
⑥	町田市、関係機関、企業との連携の強化（各種連絡会の開催）	3回程度/年	A:5回実施

(4) 生活指導

①	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底と計画的な研修実施	3回以上/年	A:研修3回実施
②	人権や発達段階等に即した指導、共感的で見通しのもてる指導実施	満足度95%以上	A:満足度98.4%
③	校内の環境整備と教室の整理整頓のための環境整備日の設定	1回/月	A:月1回実施
④	スクールバスに関する研修会・懇談会等の実施	4回/年	A:4回以上実施
⑤	運行会社との連携によるSBと専用車両の安全管理及び安全運行	事故0	A:事故0件
⑥	教育活動全体を通じた挨拶及び返事に関する指導の推進	全教職員で実施	C:一層の推進を図る

(5) 特別活動・その他

①	高等部における主権者教育・消費者教育の充実(社会、家庭)	各3時間/年	A:各3時間実施
②	毎月のテーマ掲示による読書活動の推進	1回/月	A:月1回実施
③	部活動の大会・発表会等への参加と安全に留意した活動徹底	部活動事故0	A:部活動事故0
④	社会性や豊かな人間性を育む指導と安全指導の実施	重大事故0	A:重大事故0
⑤	高等部HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施	1回/学期	A:各学期1回実施
⑥	児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け	一人一役	A:一人一役を位置付け

(6) 安全・安心、健康づくり

①	保護者・地域と連携した防災・防犯訓練の実施	各1回/年	A:各1回実施
②	教育活動全体を通じた健康・体力づくりの推進	体育健康教育推進校の取組	A:2月9日に成果発表会実施
③	新校舎本格使用に係る教育環境整備と安全管理の徹底	満足度95%以上	A:満足度99%
④	アレルギー対応訓練、AED講習・救命救急訓練等実施	各1回以上/年	A:各1回以上実施
⑤	医療的ケアに関する事故の未然防止と緊急時の対応力向上	研修2回、事故0	A:2回以上実施、重大事故0
⑥	ヒヤリハット事例の積極的な蓄積と共有を通じた未然防止の徹底	事故0	B:一層の徹底を図る

(7) 広報、地域交流、地域支援等

①	町田市内小・中学校(特別支援学級・教室)との連携強化	巡回10回以上/年	A:17回実施
②	高等学校における発達障害教育支援のための訪問等の実施	担当校1回以上/年	A:5校全校で実施
③	町田市内小・中学校及び野津田高校との交流推進	各学部1回以上/年	A:各学部1回以上実施
④	就学前機関(幼稚園・保育園)との連携強化及び指導助言の実施	10回以上/年	A:10回実施
⑤	HPの内容充実とタブレット端末活用の積極的な情報発信	HP更新200回以上	A:210回更新
⑥	教材集の充実及び地域への情報発信	30本/年	A:30本発信

(8) 学校運営・組織体制

①	服務事故防止研修、ヒアリング等による服務規律の徹底	事故0	A:事故0
②	閉庁日、定時退庁日等の設定、年休取得促進による働き方改革推進	平均超過勤務 25h/月	A:月平均22時間
③	クリーンデスクと個人情報管理徹底に向けた環境整備日の設定	1回/週、 1回/月	A:各1回実施
④	通学区域変更に係る児童・生徒の丁寧な引継ぎと対応	懇談会等の実施	B:体験、見学会、 面談実施
⑤	令和6年度2学期に向けたB小・中学部の円滑な教育活動実施対応	合同会議等の実施	B:各種合同会議実施
⑥	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底(一需センター契約)	センター契約 60%	B:56.9%

3 本年度のまとめと令和6年度に向けた方針

(1) 本年度のまとめ

ア 全体

学校評価アンケートの保護者回答(以下「学校評価(保護者)と記す」)について、回収率が昨年度73%から86.7%に向上した。

イ 人権を尊重した教育の徹底

人権に関する学校評価(保護者)の肯定的な評価の割合は、98.4%であった。昨年度は、94.8%であり向上している。人権研修等の実施を通し、丁寧な言葉遣いと指導、肯定的な注意喚起の徹底について取り組む必要がある。また、学校運営連絡協議会か、児童・生徒の呼称について姓にさん付けが望ましいという提言を受けた。真摯に対応したい。

ウ 教育課程と学習指導(自立活動を含む)

学習指導に関しては、学校評価(保護者)において肯定的な評価の割合は、98.4%であった。昨年度は、96.2%であり向上している。

ICT機器を活用した学習に関する評価に関しては、肯定的な評価が85.3%であった。昨年は、71.1%であり向上しているがICT機器の学習における利活用を引き続き促進するとともに、活用状況などについての情報発信を一層図ることが課題である。

エ 進路指導

進路指導・キャリア教育に関しては、学校評価(保護者)において肯定的な評価の割合は、98.1%であった。昨年度は、95.9%であり向上している。

社会貢献活動は、数値目標に2回足りなかったのは、台風と感染症によるものであった。次年度は目標達成できるよう取り組み、児童・生徒の自己肯定感や自己有用感の向上と社会貢献意識の醸成を高めていく。

オ 生活指導

生活指導に関しては、学校評価において「子供たちは、心配や不安なく学校生活を送れていますか」の質問に対して、肯定的評価が91.2%であった。昨年度は、90.6%であり微増している。

「生活指導、環境整備、防災、安全対策等への取組は十分に行われていますか」の質問に対しては、肯定的評価が99.0%であった。引き続き、防災については、いつ・どこで発生するか分からないという高い危機意識をもって取り組む。

カ 特別活動・その他

「子供たちは、期待通りの楽しい学校生活を送れていますか」の質問に対して、肯定的評価が98.1%であった。昨年度は、92.8%であり向上している。

また、成人年齢の引下げに伴い、高等部における消費者教育、主権者教育、環境教育の充実を今後も図っていく。

キ 安全・安心、健康づくり

安全・安心、健康づくりに関しては、学校評価において「日頃の生活指導、環境整備、防災、安全対策等への取組は、十分に行われていますか」の質問に対し、肯定的評価が99.0%であった。

また、「感染症対策など健康への取組は十分に行われていますか」の質問については、肯定的評価が98.5%と高い評価を得ている。

なお、アレルギー対応や保健面での重大事故は0件であった。引き続き、アレルギー対応や医療的ケアの安全・安心な実施について保健給食部等を中心として組織的に取り組んでいく。

ク 広報、地域交流、地域支援等

広報、地域交流、地域支援等に関しては、学校評価において「学校は、保護者や地域に対して、必要な情報を発信できていますか」の質問に対し、肯定的評価が97.8%であった。

今年度、学校間交流活動を対面式で実施した。

また、高等学校を対象とした発達障害教育支援について、引き続き支援の充実を図っていく。

ケ 学校運営・組織体制

学校運営・組織体制に関しては、「保護者と教員とのコミュニケーションは十分に取れていますか」という質問に対し、肯定的評価が94.7%であった。PTAとの連携を一層深めるとともに、管理職と保護者との懇談会等を定期的の実施することで、コミュニケーションの促進を図っていく。

また、ライフ・ワークバランスを進めることにより、教職員の心身の健康を守ることで教育活動の維持・向上に努める。

(2) 令和6年度の方針

令和5年度の取組を継続するとともに、以下の点を重点として、学校経営及び教育活動等の改善・充実を図っていく。

ア 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

- ・体罰及び不適切な指導の根絶及び、いじめ未然防止徹底（体罰、いじめ0）
- ・個人情報の適正な管理の徹底（個人情報に関する事故0）
- ・生活年齢と人権に配慮した呼称及び丁寧な言葉遣いの徹底（苦情0、満足度95%）等

イ 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実

- ・保護者・地域と連携した防災・防犯訓練の実施（1回）
- ・教育活動全体を通じた健康・体力づくりの推進（満足度95%以上）

ウ タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底

- ・各教科等でのタブレット端末活用を通じた授業の推進（学期5回）
- ・HPの内容充実とタブレット端末活用の積極的な情報発信
（各学部等お便り掲載学期1回以上）等

エ 令和6年度2学期に向けたB小中学部の円滑な教育活動実施の対応

- ・新校舎移転に向けたB小中の円滑な教育活動の実施（本校舎訪問等実施）等

オ 自立活動を基盤とした各教科指導の充実

- ・3年間の研究成果をまとめるとともに都内特別支援学校に向け発表する
（1月24日実施）等

カ 働き方改革の一層の推進

- ・業務の平準化及びメンタルヘルス研修の実施（時間外在校時間45時間未満）等